



～地域とともにある学校をめざして～

# 鯨コミ

R8年度 CS通信No.2 R8.5.19



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

## 町探検(舞戸小学校第2学年)5/8



舞戸小第2学年では、このほど、地域の様子や自然、人々の様子について発見したり、関心を持ったたりすることを目的に町探検が行われました。

この日は、舞戸小担当の地域学校協働活動推進員の渋谷貴子さんの声かけで学校支援ボランティアが3名集まり、児童の活動支援を行いました。

始めに、学級担任の今先生から、「あいさつをしっかりする。」「見学をしていいか聞いてから中に入る。」「一人で行動しない。」「品物には触らない。」等の指導を受けました。

次に、5班に分かれて、町探検が始まりました。

パルの魚屋さんを見学した班は、売っている魚の名前や種類、数を質問していました。

郵便局では、一人一人が局長さんから名刺をもらいながらあいさつを交わしていました。また、実際に使われている85円切手や110円切手を見せてもらいました。

学校支援ボランティアの皆さんは、担当の班に付き添い、店を移動するとき、こどもたちの安全を確かめたり、道を案内したりしていました。

こどもたちは、最後まで担任の先生の指導を守り、楽しく町探検に参加することができました。

## 走り方教室(西海小学校第4学年)5/8



走り方教室は、地域の陸上指導者である、鎌田先生、小沼先生、永谷先生の3名の先生を講師に行われました。講師の先生方は、まっすぐ走るためには、どうしたら良いか、どのように腕を振ったらよいか、考えさせながら指導しました。

そして、腕が伸びないように気をつけて腕を振ったり、腕の振りにスピードを付けたりする練習をさせました。

次に、まっすぐ走るように声かけして、実際に走らせてみました。こどもたちは、腕の振りに気をつけてまっすぐ走るように頑張っていました。

その後、最初、スキップしてから走ったり、低い姿勢からスタートしたりする練習をしました。

走り方教室を通して、こどもたちは、まっすぐ走ること、低い姿勢から徐々に体を上げていくことを学ぶことができました。

最後に、講師の先生方に大きな声で「ありがとう」と言って、走り方教室は終了しました。

## 令和8年度鯨ヶ沢中学校運動会5/16



朝から青空が広がる絶好のコンディションの中、今年度の運動会が開催されました。

感心したのは、生徒同士の応援や励ましの素晴らしかったことです。日常の学校生活の中で、仲間のがんばりを認める思いやりの心が育っていると感じました。また、どの種目でも、手を抜くことがなく、全力で取り組んでいたことは、素晴らしいことだと思いました。ここでも、日頃の頑張りの成果が出ていると感じました。

観覧に訪れた保護者や地域の皆さんは、大満足で、終始笑顔でこどもたちの頑張りを見守ったり、声援を送ったりしていました。